

人口ビジョン（中長期展望）

＜将来都市像＞
このままの状態が続くと
2030年83,074人をピークに
2040年に81,100人まで減少

合計特殊出生率を
2030年までに1.8へ、
2040年までに2.1へと
上昇させ、
2040年に84,800人、
2060年に81,200人の
人口規模の維持を目指す

※1.8は、国民希望出生率
2.1は、人口置換基準

＜目指すべき都市のすがた＞
(仮)
こども達の未来が輝くまち
～「子育て支援」から
「子育ち支援」へ～

＜姿勢1＞
移住・定住に関する
希望の実現

＜姿勢2＞
若い世代の結婚・子育て等に
関する希望の実現

＜姿勢3＞
多様な価値観による
地域コミュニティの形成

総合戦略（2015（H27）～2019（H31）年度の5か年）

＜基本目標＞
(2019年の成果指標)

学研都市としての特性を活かした産業の活性化、都市近郊農業の振興・活性化、企業誘致・立地による雇用と就業の創出

- 就業者数
31,137人(H22) → 32,277人(H31)
- 事業所立地件数
22事業所(H26) → 28事業所(H31)
- 首都圏での市内産農産物流通量
0トン(H26) → 21トン(H31)

交流人口の増加、地域住民による
「地域活性化・観光」の展開

- 観光入込客数
921,388人(H25) → 1,000,000人(H31)

「子育て支援No.1」を目指した
施策の充実

- 合計特殊出生率
1.57人(H26) → 1.8人(H42)
- 有配偶者率
(男) 69.2% (女) 63.1% (H22)
→ (男) 71% (女) 65% (H31)

小さな拠点を活用した個性と魅力
あふれる地域コミュニティの充実

- 市外からの滞在人口数
50,186人/日(H26) → 52,000人/日(H31)
- まちへの愛着度
68.6% (H25) → 73% (H31)

地元大学との連携による
まちの活性化

- 大学との講座・体験学習の連携実績
0件/年(H26) → 4件/年(H31)
- ブランド農産品開発数
0品(H26) → 2品(H31)

まちづくりに取り組む、
取組もうとする人材を支援・創出

- マチオモイな仲間たち(次代のリーダー)
の支援・創出実績
0人(H26) → 60人(H31)
- 定住意向率
66.2% (H27) → 80% (H31)

＜特に子育てに関する施策目標・成果指標＞
「子育て未来-KPI」※木津川市独自指標

企業などが取り組む子育て環境の整備に対する支援（子育てサポート企業（厚生労働省）の認定への応援など）や、学校給食における安心安全な地域農産物の提供に重点的に取り組みます。

学校給食における一日一品市内産野菜の利用率
%(H25) → %(H31)

子どもたちがまちへの愛着を深めることができる市の歴史文化遺産を活用した学習プログラム、子育て情報を発信するための子育てサイト・アプリの充実、里山を活用した婚活事業や多世代間交流の促進などに重点的に取り組みます。

里山などを活用した多世代交流や婚活イベント支援数
0件(H26) → 5件(H31) ※延べ数

すべての子育て世代が安心して子どもを産み育てができるとともに、子ども自身が幸せを感じながら未来に向かってはばたくことができるよう、「子育て支援No.1」の充実に取り組みます。

「保育、子育てを支援するサービス」に対する満足度
23.5% (H25) → 33.8% (H31)

地域で暮らす人々が、地域活動を楽しみながら集い、交流できる小さな拠点づくりや、子育て世代が子どもたちとともに安心・安全に地域と繋がっていけるよう、コミュニティバスや道路の整備に重点的に取り組みます。

「通勤・通学の交通の便利さ」に対する満足度
34.7% (H25) → 39.7% (H31)

子どもたちにとって興味のある・面白い講座や体験学習会のプログラムを設定し、地域の特色・文化を学ぶとともに、大人になってもう一度木津川市に住みたいと思ってもらえるよう、まちへの愛着・U/Iターン意向の醸成に重点的に取り組む。

講座・体験学習など実施学級数
0クラス(H26) → 40クラス(H31)

まちを担う若い世代が楽しみながら参加でき、また小さな子どもも一緒に楽しめるようなまちづくりに重点的に取り組みます。

中学生アンケートにおける住みよさ満足度
83.6% (H25) → 88.0% (H31)

＜主な重要業績評価指標＞
(KPI)

- 事業所立地件数（学研エリア）
28企業(H31)

- 地産・地消推進の店認定制度
70店舗(H31)

- 農林産物直売所件数
8箇所(H31)

- プロモーション映像閲覧者数
4,000人(H31)

- バスツアー利用者数
150人(H31)

- スマートフォン用サイト述べ利用者数
7,800人(H31)

- ファミリーサポートセンター年間平均利用日数
125人/日(H31)

- 待機児童数
0人(H31)

- 食育に関する講習会等述べ参加者数
200人(H31)

- コミバス年間利用者数
300,000人(H31)

- 加茂支所における交流者数
140,000人(H31)

- 環の拠点への来場者数
10,000人(H31)

- 市民農業大学講座受講生
100人(H31)

- 体験学習会述べ参加者数
300人(H31)

- 木津川アート来場者数
9,000人(H31)

- ICT（愛シティ）ライフ戦略
参加登録者数
10,000人(H31)